

みなさん、おはようございます。

最初に、8月上旬に鹿児島県や石川県で起きた豪雨災害につきまして、被害を受けられた方々に心よりお見舞いを申し上げます。被災された方々が、一日でも早く、安心して暮らせる日常を取り戻されることを心よりお祈りしております。昨日も学校周辺では雷、豪雨がありましたが、そのようなときに自分の命を守る行動をお願いします。

さて、本日も暑さ対策として、3年3組のみLL教室、他のクラスは各教室で始業式を行っています。夏休み中、大きな事故の報告もなく、2学期の始業を迎えることができ、安心しております。

とは言え、暑さだけでなく、今日のように湿度の高い日もあり、熱中症に対しては、気が抜けない状況にあります。24日に通信制は始業式があったのですが、その式辞の中でも、熱中症について注意喚起しています。帽子の着用や日傘の使用、水分や塩分の摂取といったことは割りとできていると思いますが、体を暑さに慣れさせる暑熱順化や十分な睡眠時間の確保は軽く見られているのではと心配しております。しばらく、真夏日や猛暑日が続くと思われます。油断しないようにお願いします。また、例年、学校祭の時期にコロナやインフルエンザが蔓延しています。マスクの着用は個人の判断に任せますが、より良い判断をし、学校祭が大成功に終わるよう協力してください。

ところで、みなさんは、この夏休みをどのように過ごしましたか。1学期の終業式では、「まず行動すること」の大切さ、行動することによって考え・思考が浮かび、その思考によって経験が積み上がるという話をしました。各自の行動が、思考、経験に繋がっていれば嬉しく思います。もちろん、なかなか行動できず、なんとなく不完全燃焼の夏休みを過ごしてしまった人もいます。その場合も、済んだことを悔やむのではなく、「これから」を大切にしてください。

さて、この夏、中学3年生を対象とした体験セミナーを2日間にわたり実施しました。約70名の西高生がおもてなしボランティアとして、来場者を教室まで案内したり、高校生活について中学生やその保護者に話をしてくれたりと活躍してくれました。アンケートでは、「高校生が優しく声をかけてくださり、とても安心しました。」「生き生きとした高校生活を送っておられると感じました。」「部活動と勉強の両方に力を入れて頑張っている高校だと思いました。」などの回答があり、参加した多くの中学生が西舞鶴高校を志願してくれるのではないかと考えております。西舞鶴高校というブランドは、「文武両道、部活動と勉強の両立」、「落ち着いた雰囲気がある、頑張れる雰囲気」、「希望進路の実現に向けてみんなで頑張る学校」といったものですが、このブランドは、こんな学校を作りたいと先輩たちが思ってきたものではなく、それぞれが自分の夢をかなえようと努力を重ねた結果、築かれたものです。世界最大のチェーン店の一つであるスターバックスも、ブランドをつくろうとしたことはなく、ただお客様に美味しいコーヒーの楽しみ方を伝えること、くつろげる空間を提供することに情熱を注ぎ、そうやってビジネスに忠実に取り組んだ結果、強力なブランドとなったそうです。今日から、学校祭に向けた取組が本格化していきますが、課題や困難を乗り越え、個人の頑張りが束となり、各団の団長、クラス代表、生徒会本部役員が集団をリードし、チームワークを発揮した結果、みなさんの青春の思い出となる学校祭、西高の歴史に残る学校祭にしてほしいと思います。

3年生は、学校祭が終われば、就職、進学に向けて本格的に受験モードに切り替わっていきます。

「受験は団体戦」と言われることがあります。お互いに支えあうことはありますし、先生方もいろいろな力を貸してくれます。しかしながら、結果を左右する最大の要素は「個人の強さ」だと思います。単に学力面での強さだけではなく、「実力を発揮する力」といった精神面での強さも必要です。進路を切り拓く過程を通じてそれらを身に付け、成長してくれることを期待しています。この夏に勉強を頑張った成果はすぐに表れるとは限りません。「あせらず、あわてず、あきらめず」、前に進んでいきましょう。また、1、2年生は部活動では新チームによる大会が行われ、1学期までとは環境が変わっています。2年生にとっては、一つ一つの大会やコンテストが高校生活最後のものになります。12月には研修旅行も控えています。1年生は西高での生活に慣れ、行動の幅が広がり、成長のチャンスに出会うことも増えてきます。西高生一人一人にとって、充実した2学期となることを願い、2学期始業式の式辞といたします。

令和7年8月28日 西舞鶴高等学校 校長 田邊仁司